



第69回青少年読書感想文全国コンクール課題図書 〈高等学校の部〉

※『学校図書館速報版』第2124号より紹介文引用
※課題図書コーナーはカウンター横にあります

夏季休業中の開館日

7/21・7/31・8/1-4・21-24日

※上記期間にも臨時閉館することがあります。ご了承ください。

〈開館時間〉 9:00-15:50

〈夏季特別貸出実施中!〉

期間: 7/7(金)~8/31(木)

冊数: 10冊まで貸出しができます。

☆7/24(月)~7/28(金)は蔵書点検のため閉館します。ご注意ください。

『ラブカは静かに弓を持つ』安壇美緒・著(集英社)

国内の音楽著作権を管理する組織に勤める橘。命じられ、身分を隠し音楽教室にチェロの受講生として潜入した。教室の演奏が権利侵害にあたり、使用料が必要という主張の証拠を集めるためだ。しかし、浅葉講師の演奏に心魅かれ、音楽を愛し信頼で結ばれた人々に接するうち、少年期の事件で離れていたチェロへの情熱よみがえる。一方、自分がやっているスパイ同然の行為に苦悩し始める。橘の心の葛藤と、チェロの音色が響き合う。

『タガヤセ! 日本:「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます』白石優生・著(河出書房新社)

農林水産省の公式YouTubeチャンネル「BUZZ MAFF(ばずまふ)」で活動する著者が、最新の農業や農業の未来を軽快に語っていく。米やイチゴ、和牛の品種改良の秘密、ドローンやロボットを活用したスマート農業、SNSで情報発信し販売まで手がける農家など、興味をそられる話題が満載。食料自給率や食品ロスなど日本の農業が抱える課題にも言及している。普段私たちが食べている農畜産物への興味、関心が深まる。

『昆虫の惑星: 虫たちは今日も地球を回す』アヌ・ガエルトゥップ = ティーゲルン・著、小林玲子・訳(辰巳出版)

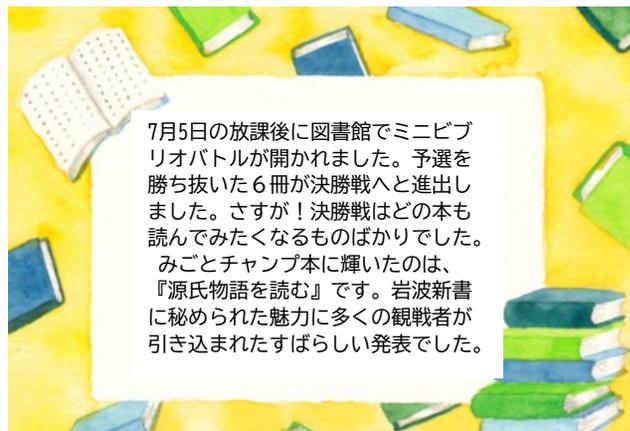
ノルウェーの女性昆虫学者による一冊。前半は昆虫の体の仕組みや機能などの生態、後半はヒトと昆虫の関わりがとりあげられる。昆虫の生態から出発し、次第に視野を広げ、最新の知見を交えながら生物多様性の課題へと発展する構成。著者は、現在昆虫の多様性が危機に直面しており、これは人間にとっても同様に危機であることを述べ、生物多様性の危機に警鐘を鳴らす。昆虫が苦手な人にも新たな視点を提供し、昆虫の生態を知る意義を説く。

※書影は「版元ドットコム」



〈ブックリスト〉

- 『いのちの食べ方』十文字青・著(KADOKAWA)
- 『ハリー・ポッターシリーズ』J.K.ローリング著(静山社)
- 『源氏物語を読む』高木和子・著(岩波書店)
- 『掟上今日子の備忘録』西尾維新・著(講談社)
- 『早朝始発の殺風景』青崎有吾・著(集英社)
- 『汝、星のごとく』凧良ゆう・著(講談社)
- 『5分後に意外な結末ベスト・セレクション』桃戸ハル・著(講談社)
- 『キノの旅』時雨沢恵一・著(KADOKAWA)
- 『ききりんご紀行』谷村志穂・著(集英社)
- 『きらめく甲虫』丸山宗利・著(幻冬舎)
- 『ゴーストハント』小野不由美・著(KADOKAWA)
- 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』レイディみかこ・著(新潮社)
- 『今夜、世界からこの涙が消えても』一条岬・著(KADOKAWA)
- 『medium 霊媒探偵城塚翡翠』相沢沙呼・著(講談社)
- 『推し、燃ゆ』宇佐見りん・著(河出書房新社)
- 『高校一冊目の参考書』船登惟希・著(KADOKAWA)
- 『羊と鋼の森』宮下奈都・著(文藝春秋)
- 『無人駅で君を待っている』いぬじゅん・著(スターツ出版)
- 『リバーズ』湊かなえ・著(講談社)
- 『歩道橋シネマ』恩田陸・著(新潮社)
- 『人魚の眠る家』東野圭吾・著(幻冬舎)
- 『とっぴんぱらりの風太郎』万城目学・著(文藝春秋)
- 『蟲の神』エドワード・ゴーリー著(河出書房新社)
- 『数学ガールの秘密ノート』結城浩・著(SBクリエイティブ)



7月5日の放課後に図書館でミニピリオバトルが開かれました。予選を勝ち抜いた6冊が決勝戦へと進出しました。さすが! 決勝戦はどの本も読んでみたくなるものばかりでした。みごとチャンプ本に輝いたのは、『源氏物語を読む』です。岩波新書に秘められた魅力に多くの観戦者が引き込まれたすばらしい発表でした。

予選代表… 『源氏物語を読む』 **チャンプ本**

『リバーズ』

『無人駅で君を待っている』

『蟲の神』

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

『推し、燃ゆ』(発表順)

おめでとうございます